

荒尾アソニットと三池縫製の両工場に働く、あの大爆発で命を奪われた犠牲者の遺族たちが、労働条件改善を要求してそれぞれの工場正門前に座りこんでからまだ1ヶ月ちょっとたつたばかりなのに、アソニット工場では予想もしなかったしめつけが行なわれているというウワサが流れてきた。

まさかと思い、ついこの頃アソニット工場（従業員数約700人。セーターやニューニットなど製造。三神哲夫社長）に働く遺族10人内外の人びとに集まつてもらい、話し合う機会をもつた。さて、アソニット工場とは、果してどんなところか。次は、そのときの抜粋である。

——遺族の皆さんが工場正で座りこんで、团结の力を示してから、会社側の従業員に対し姿勢も「民主的」にいくらかなつたように伝えられていたが？

▼……ようなるじいか、昨朝礼のときも、会社側の人はしたすよ「工賃が安いからって、上げてやろうと思つてあんたたちの今の作業ぶりじ上げるに上ばられん」。(笑)

▼…かと思うと、たとえばさんの下に十人内外の班長がとして、そのなかの一人が休りすると、その人の分をまわらみんなに押しつけられる。

——徳川封建時代そのままでながですか。

法事だといつても、思うようには休めんのです。

——ひどい話だな。熱いのよ。

冬は冷房夏暖房で弱肉強食

▼職場はまるで地獄です。

▼うちの職場は、冬が冷房で夏が暖房。夕方家に帰るとまた目ひつこんでしもむといふ。

——冷房の施設は？

▼あるにはありますばつてんの工種では、その工種に合わせて

冷たかエアコンは吹かせるところがとにかくしかないとですよ。
でもから、こっちに向ければあっちが熱し、あっちに向ければあっちが熱し。

▼要するに、少な過ぎる。

▼……そうたい。強か者が勝ちで弱肉強食たい、それでは。
▼……うちは、風邪のひき通し。

遺族はまねで邪魔もの

まったくわけがわからぬ安い”固定給

停電すればその分だけ働け
自分でぎやア買 請負給

……あのですね。作田、停電し給より

卷之三

時間分走りもどすため、今田 わんね。請負給

でたたられました。

政治小説の歴史

うちの会社の勤務時間は、――まんべの

は午前八時十五分から午後五時まで

でなんですが。どうせ作田

電車のため、年前十時三十分から

アソニットとは どんな工場か

5月30日朝、アソニット工場に傍く遺族たちは工場正門前で要求をかけ、座りこみにはいった、ともすればひるもうとする自分にうち勝つために、どれほど勇気が要ったろう。

冷房加湿がしてある。それで、そこから、その近くで仕事をせんなんのな、風邪をひくんぢやないよ。風邪ひいて休んで、やつとなおいで出勤してまた風邪ひいて……。

パンツも汗で
ジユタジユタ

▼…ちよりとかよつと。偉か人たあはううね。かううじよか加減のどいじゆに座つて、ゆうゆうひと。
▼…じいちは、パンツから何から、汗ジジユタジユタ。
▼…そんな熱が職場で編まなければならぬ品物は、冬物のセーター。それが自然に腰から下を包む形になるのですから。
▼おまけに、編機には電気ヒーターを入れとかんなどですよ。
——どうしてですか？
▼…相手が毛糸。乾燥させとまさせると、機械を動かすのが重くなったり、糸が切れたり。
▼…頭のすぐ上からは、仕事をする手もとを照らす螢光灯の照明。
▼…セーターはもう、見ひびりでんなか。
▼…いへん、寒暖計もぢん

どうし蚊のお
つむじやろか
▼……ちよいとちよいよ。うちの
職場には、とにかく蚊の多くて仕
事がでけんが。だから事務所に蚊
がいる線香は、もろいじくつたつ
たり。
▼……あたりまえじやのもん。
▼……そりがだら、「興味で持つ
らんね」。だから私はじうたつ
じう。「蚊は、食うとは待っては
れんぬエもん。今出してもらわ
ない、仕事でけんばかりに頼
む」とさう」と。それでも事務
所まだ、「どうし、蚊のおつ
むじやるか」。だから懇願わず一
となつてこうてやつたよ。「四
前に便所でけたけんたぶ」。
笑い)見れば、事務所ではワイ
ーふらよらず。二時間ばかりし
ら、ワイパーがきたけど。
▼……働く者がさんざん熱さや蚊
苦しみよるとこには面もくれず、
を開けば枚数枚数。
——まるで残酷物語りだな。

十五分から始まって、午後五分まで働かされました。午後四時十五分まで、「まだ午後五分まで働かされました。」
がめりかもんねエ、うちのよその会社では、同じ停電、「よかっただね。骨休ぬか機械の整備でもしよう!」
がめりかといえま、この作入所のときもひいたきり。
自分持ち。
金会から賣わんなんです。
会社が、売るですよ。た
今年は八百田でしたか?
ハサミも、いっぺんもう
うもの職場では、自分で買
はせんも。ちゃんとあり
会社の仕事ます」とい
真うなんかおかじかよ。
おかしかてちや、しょんな
そらす、じっぺんやかま
つてやるんね。
くちこくへやーと顎あごのひ
くど、ひく「だよーが、
▼…第一
達じで、班
DNZ
吉修

「お前は、工場つくらすと、そ
が娘さんたちはばかり。
族は、一倍苦労しながら
らん職場に釘つけ。

械や施設が合理化さるる
そのためこの人なん
こしながら)病氣になつ
固定給のところに移し
はなつたところが、こん
げ残業。

「残業はしません」
ましたところが「製品
四百枚はあがんなん」
ですよ。とても勤務時
かなえず、結局は負け
り残業しましたら、そ
またまひつて二日休ん
した。

い話。

修身、今は
D 教育

▼…それが、うまくいえんけん
頭にカーブと先にきて、かんじこ
の言葉がのどにかえてしまふ。
くやしかもん。こうべきどきには
亡人の人が、つうづかり雇休
に縫通じてしまつたら、通りか
間はつまらん。嫌われ

►…第一、もうこの頃、私た
達族はいらんもん扱いで。
►…それどころか目のガタキ。
►…社長は両手はひう大きく
見て（といひながら仕草をまね
見せて、「人間はなんぼでもく
わ、くるわ」。(爆笑)

►…こいつはまだ「やむる
ともいわん」と、「いやせんよ
ほい、やめて」といわんばかり。
►…そげんときは、ひつてや
んね。「たとえオシッコしかぶ
じつなつたつちや、やつてくるよ

▬歩くなんかどうることとは、土
あり得ないことですかからな。
一先祖者と資本家かい」「